

令和4年度

事務事業評価表（令和3年度の実績評価）

記入年月日
令和4年4月19日

事務事業名		筑西地方拠点都市地域整備推進協議会参画事業			事業区分 新規/継続 単独/補助		単独		担当 事務事業No. 060305000277 010201	
政策体系上の位置付け		政策体系上の位置付け			所属課		企画課		企業課	
政策体系	総合計画の施策名	0603 時代に合った自治体運営			課長名		グループ		企画グループ	
	政策名	06 みんなで築く自治のまちづくり			担当者名		企画グループ			
	施策名	03 時代に合った自治体運営								
	手段名	05 ⑤広域連携の推進								
財務会計上の位置付け					事業期間 単年度繰返し（平成6年度～） 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	08	01	00	企画事業			
法令根拠		地方拠点法								

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要（事務事業の全体像） 【協議会の目的】 筑西地方拠点都市地域（桜川市、結城市、筑西市）の計画的かつ一体的な整備を推進することにより、地域の均衡ある発展に寄与する。 上記の目的を達成するために作られた「筑西地方拠点都市地域基本計画」の進捗管理を行うと共に、3市が連携することによってより効果的に実施できる事業についての調査研究を行っている。 なお、令和2年6月1日付にて変更した基本計画が県知事の同意を得たことにより、協議会で実施すべき事業が完了したため、令和2年11月30日をもって、当面の間、活動を休止することとなった。（協議会による協議が必要となった場合には、適宜再開する。）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務】 ・ワーキングチーム会議、幹事会及び総会（書面協議）

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
【担当者が行う業務】 ・幹事会及び総会（書面協議） ・筑西地方拠点都市協議会ワーキング会議への参加	会議等の開催回数	回	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
「筑西地方拠点都市地域基本計画」に位置付けられた事業	重点事業の数	件	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
事業を進捗させる	重点事業の進捗状況（完了事業の割合）	%	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移		02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	
		事業費計（A）	千円	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

03年度事業費 実績（千円）			04年度事業費 予算（千円）		
合計		0	合計		0

事務事業名	筑西地方拠点都市地域整備推進協議会参画事業	事務事業No.	60305000277	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律」の制定（平成4年）に伴い、平成6年に広域市町村圏事務組合を構成する市町村（2市5町1村、当時）により設立された。 筑西市（平成17年3月）、桜川市（平成17年10月）の誕生により、3市の構成となった。 平成22年度、北関東自動車道「桜川筑西IC」の供用に合わせて周辺地区の土地利用計画の見直しを行った。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特に意見はない。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
休止	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 構成市間の有機的連携を強め、拠点都市地域の形成を目指すものであることから、広域連携の推進等、政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 筑西地方拠点都市地域の均衡な発展を目的とした協議会であり、公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 協議会は国の支援制度等の情報収集等を実施してきたが、法施行から年月が経ち、協議会の担うべき役割が小さくなっているため、成果の向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 筑西地方拠点都市地域基本計画を変更し、当面の間、協議会として実施すべき事業がないため、協議会自体は休止になる。現在の主な業務としては、筑西地方拠点都市地域基本計画に係る進捗状況の報告等があるため、協議会が廃止になれば影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 余地がない 特になし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 現在、負担金は徴収しておらず繰越金のみで運用しているため、削減の余地はない。必要最小限の事務に限定しており、人件費の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益機会・費用負担は適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和2年6月1日に変更基本計画が県知事の同意を得た。 協議会で実施すべき事業が完了したため、令和2年11月30日をもって、当面の間、活動を休止。 （協議会による協議が必要となった場合には、適宜再開する。）																						
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認 休止